

【PC サーバ PRIMERGY】

国内向け製品での英語 OS ご利用の手引き

富士通株式会社

目次

1. 対象機種/オプション、対象 OS	3
1.1. 対象機種/オプション	3
1.2. 対象 OS	5
1.3. 対象範囲	5
2. 保守サービス	5
3. 導入の手引き	6
3.1. ハードウェアの留意事項	6
3.2. 英語 Windows OS	6
3.2.1. Windows OS 製品と言語設定	6
3.2.2. 物理環境への英語 Windows OS のセットアップ	7
3.2.3. インストール操作	7
3.2.4. 英語 Windows OS での運用管理ソフトウェア	9
3.2.5. 仮想環境への英語 Windows OS のセットアップ	9
3.2.6. OS 言語選択方法	10
3.2.7. Windows Server メディアキット使用時の言語設定方法	11
3.3. 英語 Linux OS の利用	29
3.3.1. 物理環境への英語 Linux OS のセットアップ	29
3.3.2. 仮想環境への英語 Linux OS のセットアップ	32
3.3.3. 英語 Linux OS での運用管理ソフトウェア	32
3.4. 英語ソフトウェア	33
3.4.1. PC サーバ関連ソフトウェアの英語 OS 対応	33
3.4.2. 富士通製ミドルウェア、その他ソフトウェアに関する留意事項	33
4. 【ご参考】	34
4.1. VMware 留意事項	34
4.1.1. VMware 向けソフトウェアについて	34
4.1.2. VMware における英語 OS 設定方法	34
4.2. 英語キーボードのキー配列について	34
5. 【本書の記載に関するお問い合わせ先】	35

【本書のご利用にあたって】

本書に記載している、OS 上の言語環境「英語」での運用方法は、OS インストール及び運用管理ソフトウェアの設定・利用方法について、記載しております。

各 OS に包含される各機能（例：Active Directory 機能等）や OS 上のソフトウェアをインストールした後に設計・構築されるサーバシステム環境において、言語環境「英語」での動作を確認しているものではありません。これらの OS 機能／ソフトウェアの「英語」（言語環境）における動作可否については、OS 機能／ソフトウェアの動作条件に準じるため、ご使用ユーザー様にて OS 機能／ソフトウェアの動作条件を設計・構築前にご確認ください。

■英語 OS の利用とは

国内製品 PRIMERGY において OS の言語環境を「英語」として運用する事を指します。

<Windows OS>

- ・PRIMERGY と同時手配し、工場出荷時にインストール/バンドルする Windows OS オプション（以下 OEM 製品）[英語、日本語が選択可能]において言語「英語」を選択しての利用。
- ・ダウングレード/ダウンエディション用の「Windows Server メディアキット」を使用しインストールして、言語「英語」を選択しての利用。
- ・ボリュームライセンス製品(英語版)での利用。

<Linux OS>

- ・システムロケール設定(言語、地域の設定)を「英語」での利用。

■使用環境

国内向けに販売された PRIMERGY の国内での使用となります。

英語 OS のご利用には、本書に記載のインストール/設定方法をご参照のうえ、事前に十分な検証を行いご利用ください。尚、記載外でのインストール/設定方法および稼働後の設定変更環境での運用はサポート対象外となりますので、ご注意ください。

1. 対象機種/オプション、対象 OS

1.1. 対象機種/オプション

対象機種の詳細は Table1.1 の通りです。2011 年 5 月以降発表機種(PY 型名)および、対象機種に接続可能なオプション製品を対象とします。

Table 1.1 対象機種詳細

タイプ	対象機種
ブレード型	BX920 S3 以降
	BX2560 M1 以降
	BX924 S3 以降
	BX2580 M1 以降
ラック型	RX100 S7 以降
	RX1330 M1 以降
	RX2520 M1 以降
	RX200 S7 以降
	RX2530 M1 以降
	RX300 S7 以降
	RX2540 M1 以降
	RX350 S7 以降
	RX2560 M1 以降
	RX500 S7
	RX600 S6
	RX4770 M1 以降
タワー型	TX100 S3
	TX1310 M1 以降
	TX120 S3 以降
	TX1320 M1 以降
	TX140 S1 以降
	TX1330 M1 以降
	TX150 S8 以降
	TX200 S7 以降
	TX2540 M1 以降
	TX300 S7 以降
	TX2560 M1 以降
	MX130 S2
マルチノード型	CX250 S1 以降
	CX2550 M1 以降
	CX270 S1 以降
	CX2570 M1 以降

1.2. 対象 OS

対象 OS は Table1.2 の通りです。

Table 1.2 サポート対象 OS

OS 種類	OS 名称
Windows	Windows Server 2008
	Windows Server 2008 R2
	Windows Server 2012
	Windows Server 2012 R2
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5
	Red Hat Enterprise Linux 6
	Red Hat Enterprise Linux 7

1.3. 対象範囲

物理環境、仮想環境双方においてサポートいたします。仮想環境におけるホスト OS/ゲスト OS の組合せは Table1.3 の通りです。

Table 1.3 仮想環境における組合せ

			ゲスト OS			
			Windows		Linux	
			日本語	英語	日本語	英語
ホスト OS	Windows (Hyper-V)	日本語	○	○	—	—
		英語	○	○	—	—
	Red Hat Enterprise Linux 5 (Xen)	日本語	—	—	○	○
		英語	—	—	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 6/7 (KVM)	日本語	○	○	○	○
		英語	○	○	○	○
	VMware	英語	○	○	○	○
	EverRun	英語	○	○	—	—
	CitrixXenDesktop	英語	○	○	—	—

○：サポート対象、×：サポート非対象、—：対象構成無し

※保守サポート上の留意事項につきましては、「2. 保守サービス」をご参照ください。

2. 保守サービス

- ・運用保守サービス「SupportDesk」は日本語/英語のご利用に関わらず PRIMERGY 製品で共通のサービス商品です。障害コールや問い合わせ等のサービス提供は、OS の言語環境を「日本語」で運用されているものとしてご対応いたします。OS の言語環境を「英語」で運用されている場合、スムーズなサービス提供のためお手数ですがお問い合わせの際に「英語で運用している」旨をご申告ください。ご申告いただけない場合、英語環境固有の問題などで対処が遅れる可能性があります。

※問い合わせへの対応（電話・E-mail）およびドキュメント・ご契約者様専用ホームページの表記等につきましては、**日本語**となります。

英語での対応をご希望の場合は、別途有償にて承ります。詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください。

3. 導入の手引き

3.1. ハードウェアの留意事項

- ドキュメント (README 含む) は基本的に **日本語** で提供となります。各 OS の留意については 3.2 以降をご覧ください。
- PRIMERGY 製品の日本語用キーボードをご利用ください。
ServerView Installation Manager (以下 SVIM) での OS インストールの際の基本設定画面において「日本語キーボード」を選択してください。
英語 OS において、弊社キーボードを「日本語キーボード」として設定した場合にはキーボード配列に影響はありません。
- 英語 OS において「英語キーボード」として設定し使用する場合には
キーボードに刻印されている文字と実際に入力される文字が異なることがあります。
詳細についてはご参考「Figure 4-1」を参照ください。
- ドライバは言語による差異はありません。
- サーバ内蔵型バッテリーユニット用の Windows OS 用監視ソフトウェアをご使用の場合は、「V2.0L10」以降の版数のソフトウェアをご使用ください。

3.2. 英語 Windows OS

3.2.1. Windows OS 製品と言語設定

Window OS をご利用の場合、以下の購入方法、言語設定方法での英語 OS 利用となります。

Table 3.1 購入方法毎の言語「英語」導入方法

OS 製品	対応言語	言語の設定方法
OEM 製品	英語、日本語	3.2.2～3.2.6 インストール方法参照
Windows Server メディアキット	日本語	3.2.7 インストール方法参照
ボリュームライセンス製品 (*1)	英語	—

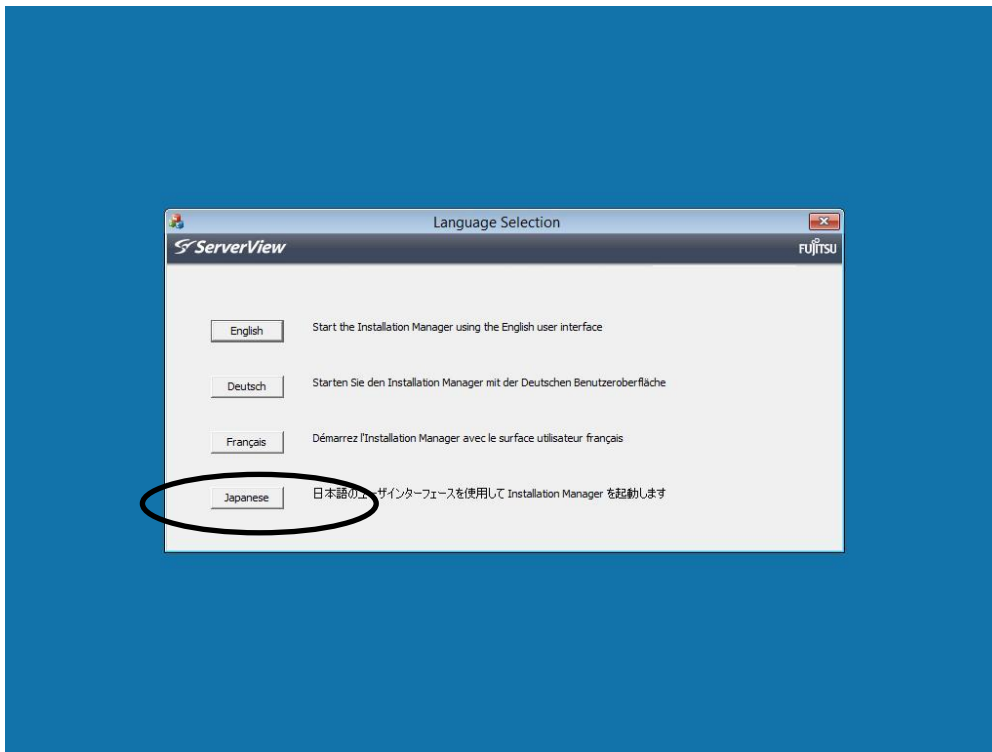
(*1) 購入者専用 WEB サイト「マイクロソフトボリュームライセンスサービスセンター」もしくは、メディアにて購入できます。ボリュームライセンス用インストールプログラムを入手するためにはボリュームライセンスを購入する必要があります。

3.2.2. 物理環境への英語 Windows OS のセットアップ

物理環境への英語 OS インストールでは SVIM を起動し、GUI 言語を「Japanese」 に設定しインストールを開始し、OS 言語選択は「基本設定」画面の「地域と言語の設定」にて「English」を設定してください。

3.2.3. インストール操作

(1)SVIM における GUI 言語設定画面



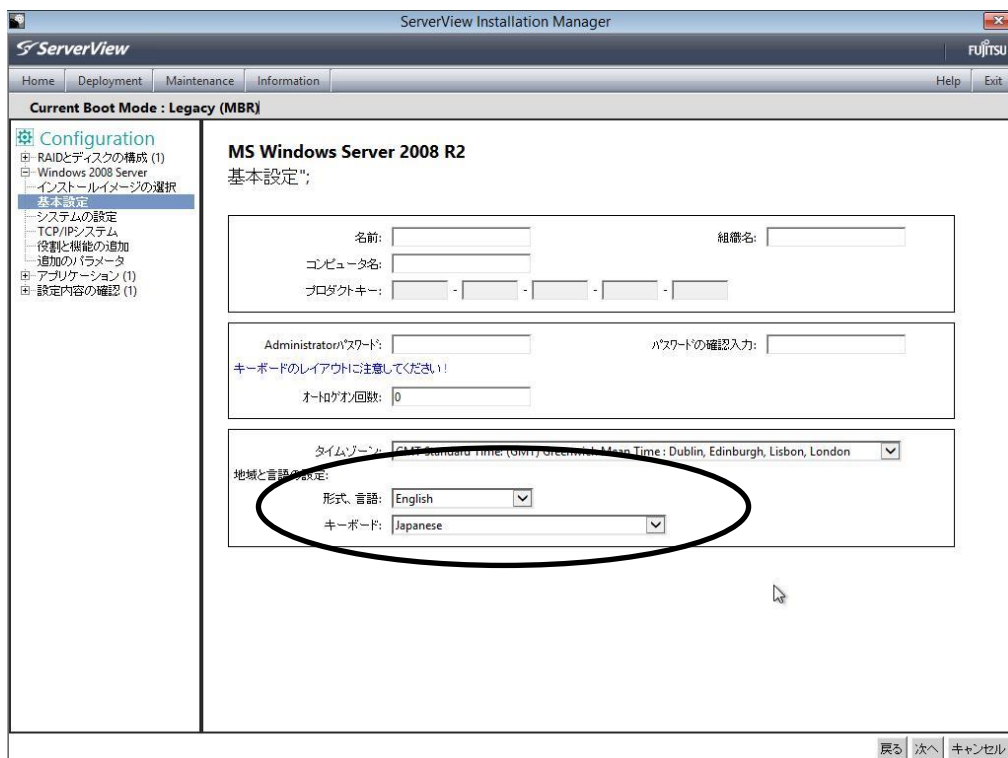
SVIM 起動時に、GUI 言語選択画面において言語「Japanese」を選択してください。

(2) クイックモード・ガイドモード選択画面



クイックモード・ガイドモード選択画面において「ガイドモード」を選択してください。

(3) OS 言語選択画面（基本設定画面）



基本設定画面において「地域と言語の設定」で「形式、言語」を「English」、「キーボード」については「Japanese」を選択してください。

3.2.4. 英語 Windows OS での運用管理ソフトウェア

英語 OS 上での Windows 向け運用管理ソフトウェアは、以下の 2 種類のソフトウェアがあります。

- ServerView Suite (以下 SVS) DVD に収録されている Windows 向け運用管理/高信頼ソフトウェア (3.2.3 のインストール操作を行った場合にインストールされる SVS 格納ソフトウェア)
- SupportDesk サービスをご契約頂いたお客様用専用サイト SupportDesk-Web においてダウンロード、インストールが可能な Windows 向け運用管理用のソフトウェア
これらのソフトウェアの英語 OS の対応状況について以下に示します。

Table 3.2 英語 OS 対応状況

		Windows Server 2008、2008 R2、2012、 2012 R2 動作可否	ドキュメント 英語対応状況
SVS 格納 運用管理/高信頼 ソフトウェア	ServerView Operations Manager	○	○
	ServerView RAID Manager	○	○
	ServerView Agents	○	○
	ServerView Agentless Service(*1)	○	○
	ServerView Update Agent	○	○
	JavaRuntime Environment	○	-
	DSNAP (日本語版)	○(*2)	○
	ソフトウェアサポートガイド	×(*3)	○
	HRM / server (PRIMERGY)	○	×
SupportDesk-Web にて提供のインス トールソフトウェ ア	VMDM (仮想マシンダンプ管理ツール)	×	×

(*1) 64bit のみの対応となります。

(*2) メニュー上は「DSNAP(日本語版)」と表示されますが、英語版がインストールされます。

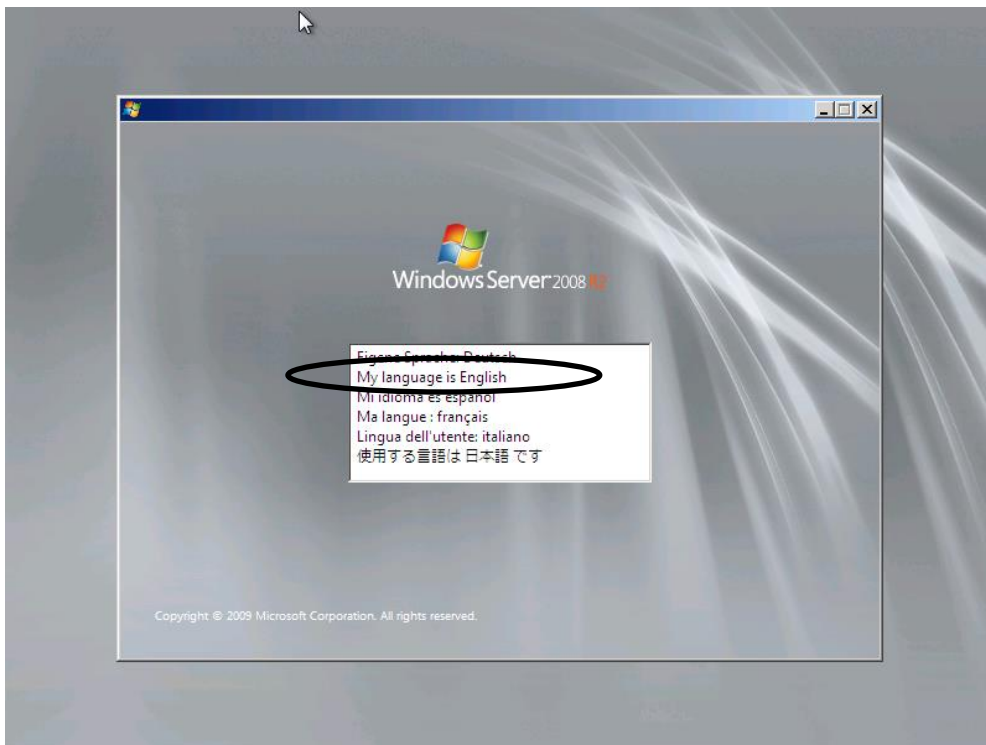
(*3) ソフトウェアサポートガイドは日本語版がインストールされますので英語版の再インストールが必要となります。再インストールについては、readme.txt を参照のうえ、アンインストール/インストールを実施してください。

3.2.5. 仮想環境への英語 Windows OS のセットアップ

仮想環境への英語 OS インストールについては、各ホスト OS 側のマニュアルをご参照ください。OS 言語選択方法については、以下の通りです。

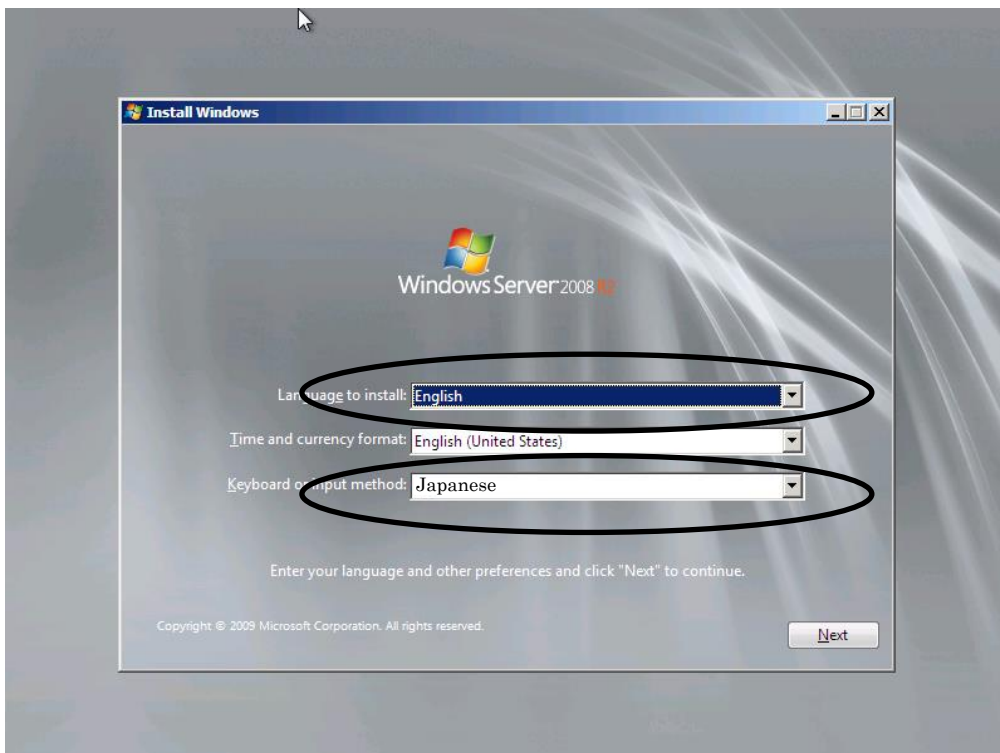
3.2.6. OS 言語選択方法

(1) セットアップ言語選択画面



セットアップ言語選択画面において「My language is English」を選択してください。

(2) 言語、タイムゾーン、キーボードレイアウト選択画面



インストールする言語選択項目において言語を「English」、キーボードについては「Japanese」を選択してください。

3.2.7. Windows Server メディアキット使用時の言語設定方法

Windows Server メディアキットは「日本語版」での提供となるため、日本語で OS インストール後に「多言語ユーザー インターフェイス言語パック」を適用し、「表示言語」を変更する必要があります。下記手順にてインストールを実施ください。

(1) OS のインストール

マニュアルを参照し、日本語にて OS インストールを実施してください。

(2) 多言語ユーザー インターフェイス言語パックの適用

ご使用になる OS に応じた「多言語ユーザー インターフェイス言語パック」をマイクロソフト社 HP よりダウンロードし、適用してください。

-Windows Server 2008 SP2

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=3162>

-Windows Server 2008 R2 SP1

<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=2634>

-Windows Server 2012 (*)

<http://www.microsoft.com/oem/ja/installation/downloads/Pages/Windows-Server-2012-Language-Packs.aspx#fbid=Uxn5nEUR82c>

(*)ダウンロードにはマイクロソフト パートナー ネットワーク (MPN) への登録が必要です。

MPN への登録には Microsoft アカウント (以前の Windows Live ID) が必要です。

(*) 言語パックのインストール方法

コマンドプロンプト上で以下を実行してください。

Dism /online /add-package /packagepath:<言語パックのドライブ>:\langpacks¥en-us¥lp.cab

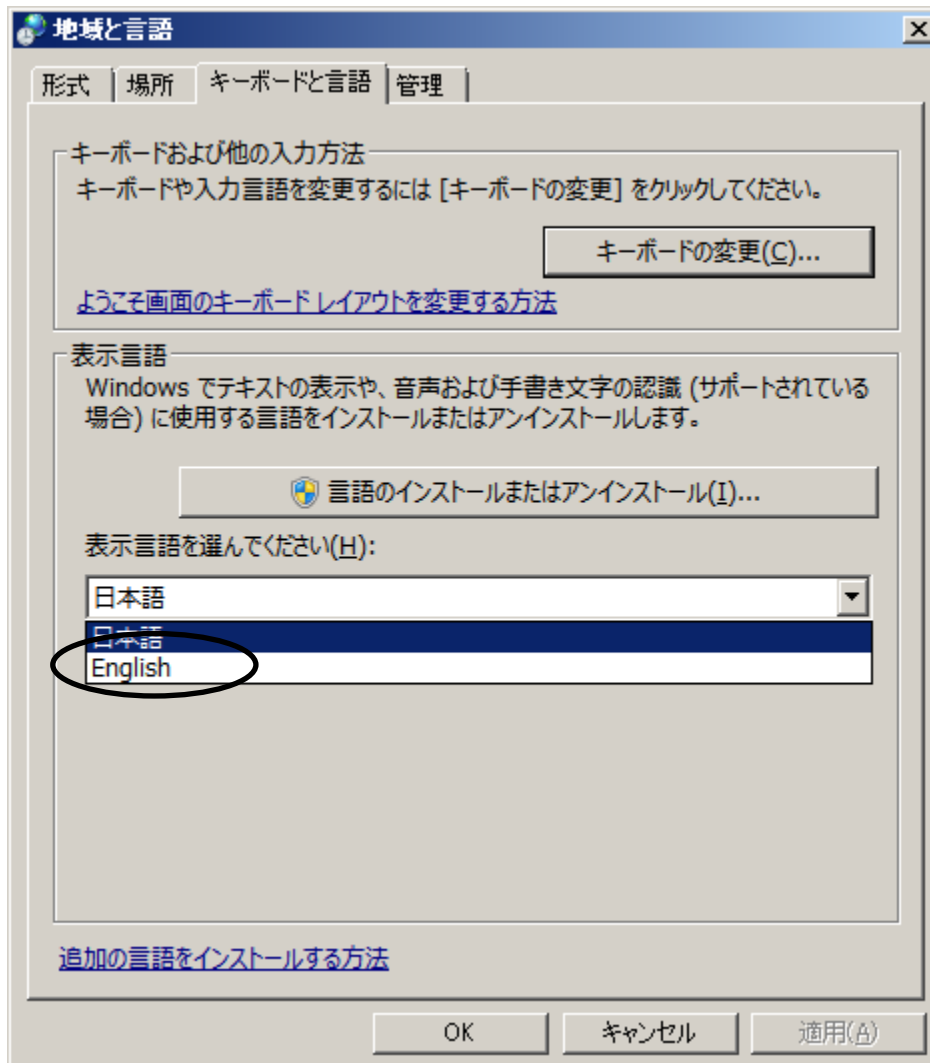
(3) 表示言語の変更方法

Windows Server 2008/2008 R2 の場合

- ・ [コントロール パネル] を起動し、[時計、言語、および地域] の [表示言語の変更] をクリックします。

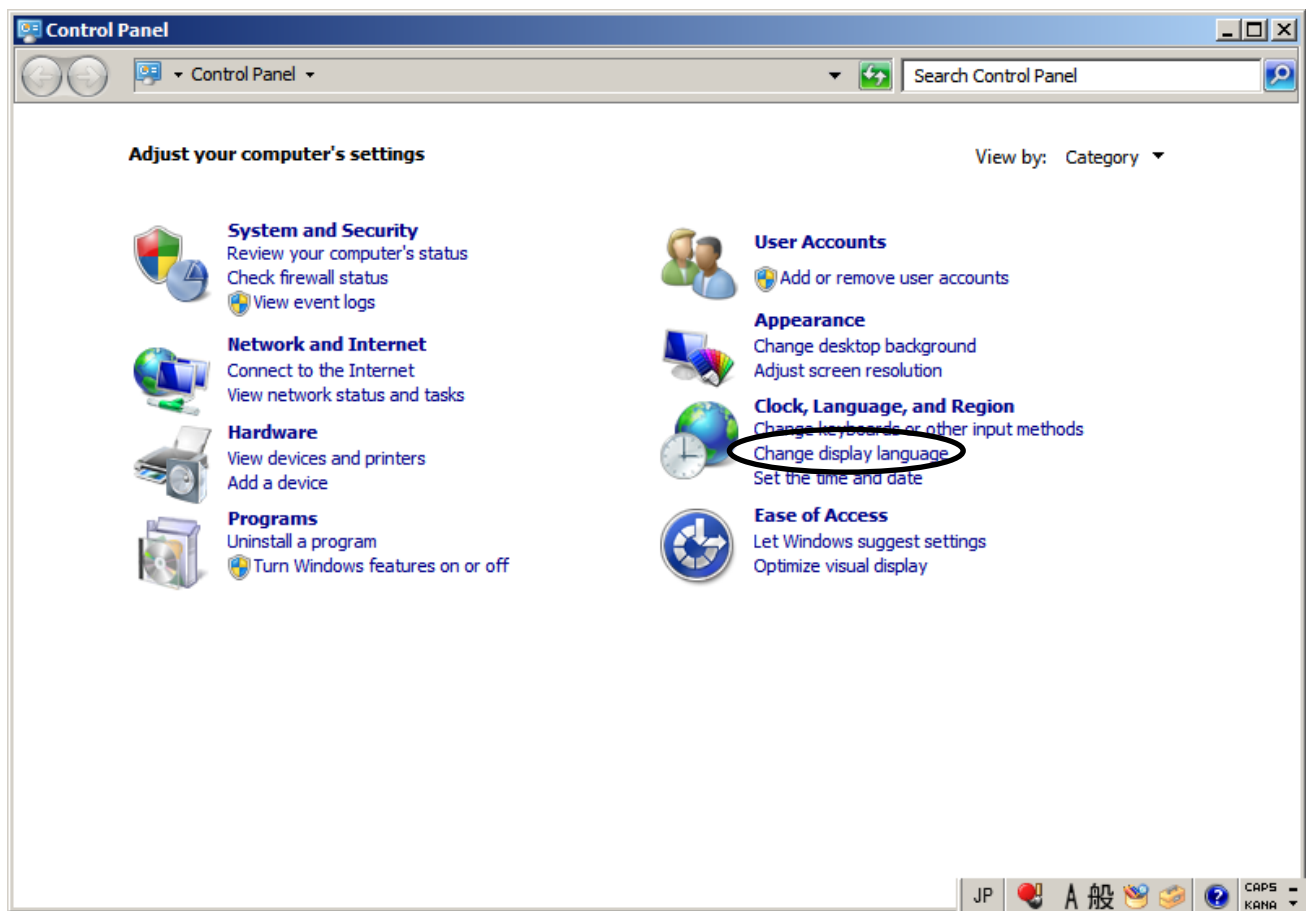


- ・「地域と言語」画面内の「キーボードと言語」を選択し、「表示言語」プルダウンで「English」を選択し、[OK] をクリックします。

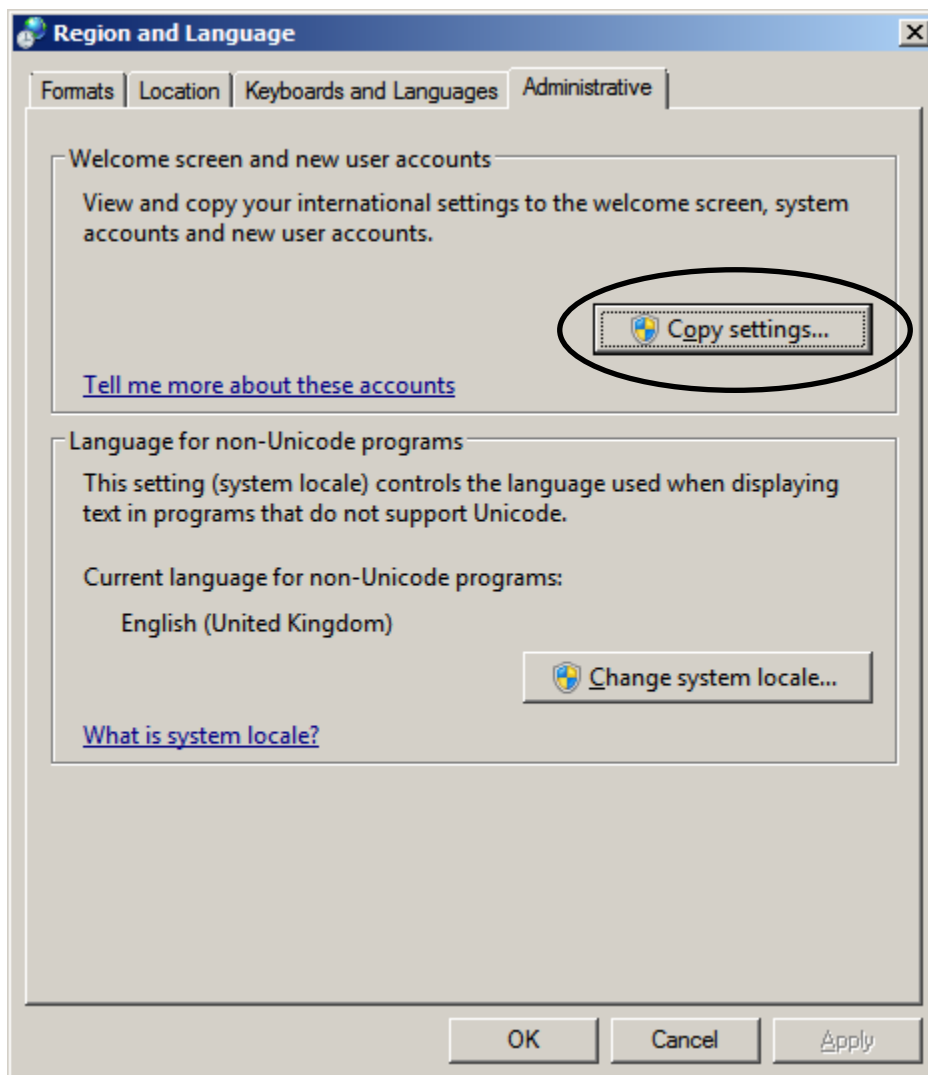


- ・ログオフを促がされるのでログオフします。

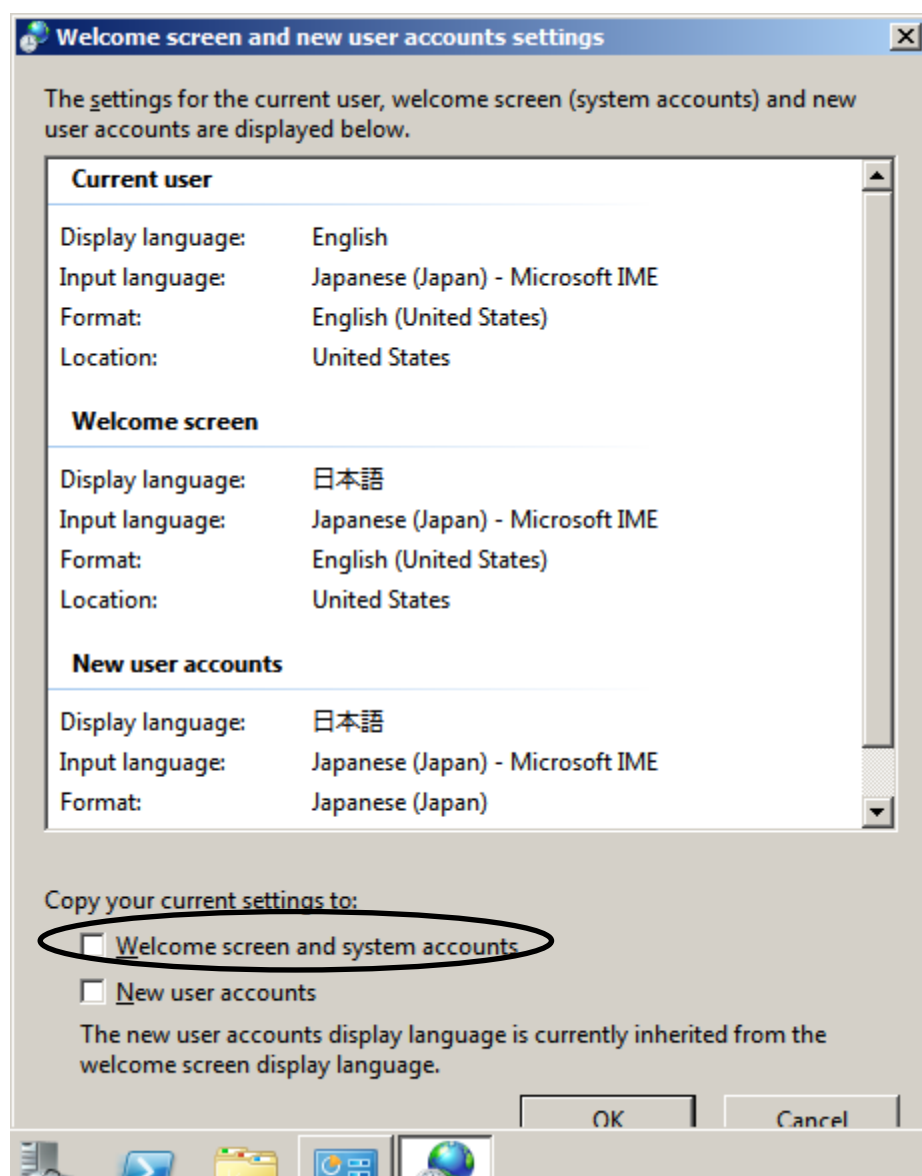
・再度ログオン（ログオン時の画面はまだ日本語となります）し、Control Panel を起動後、「Clock, Language, and Region」の「Change display language」をクリックします。



- ・「Region and Language」画面で「Administrative」タブを開き、「Welcome screen and new user accounts」内の「Copy settings」をクリックします。

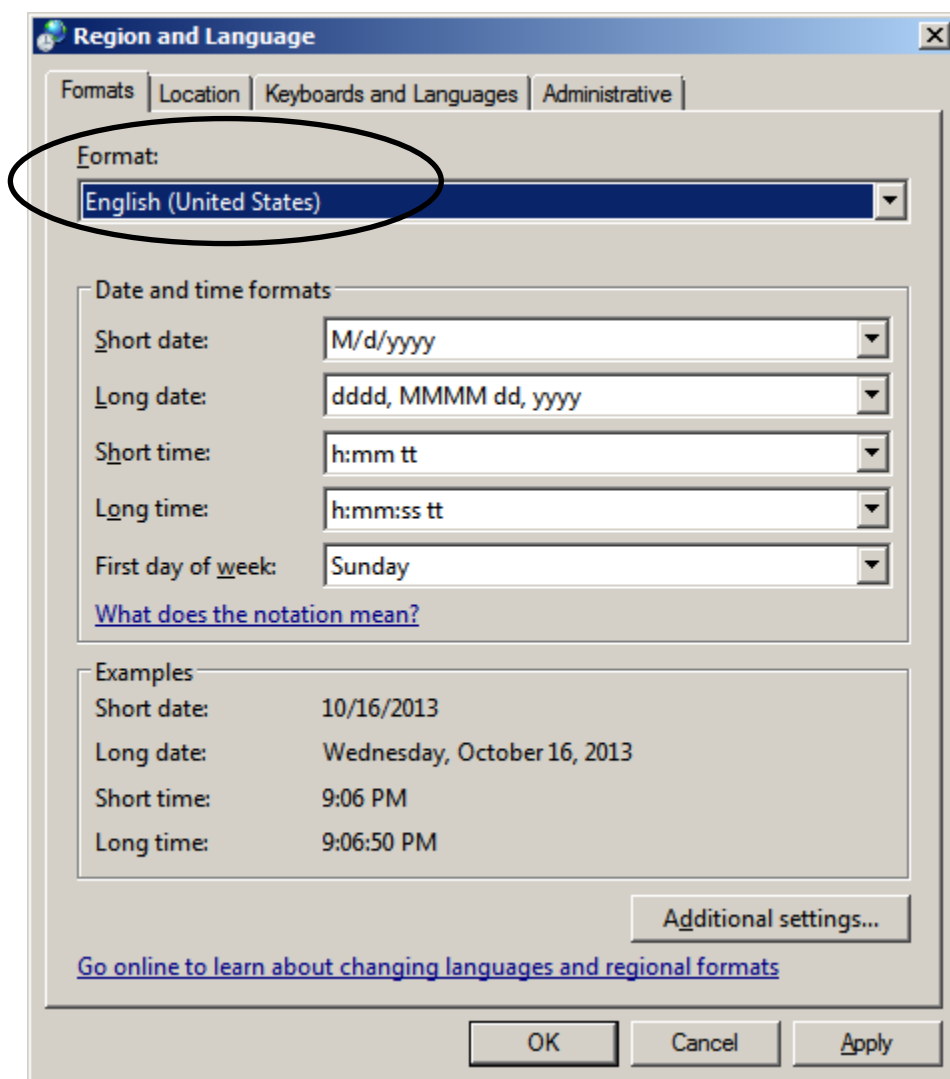


・「Welcome screen and new user accounts settings」画面で、「Welcome screen and system accounts」にチェックして [OK] をクリックします。

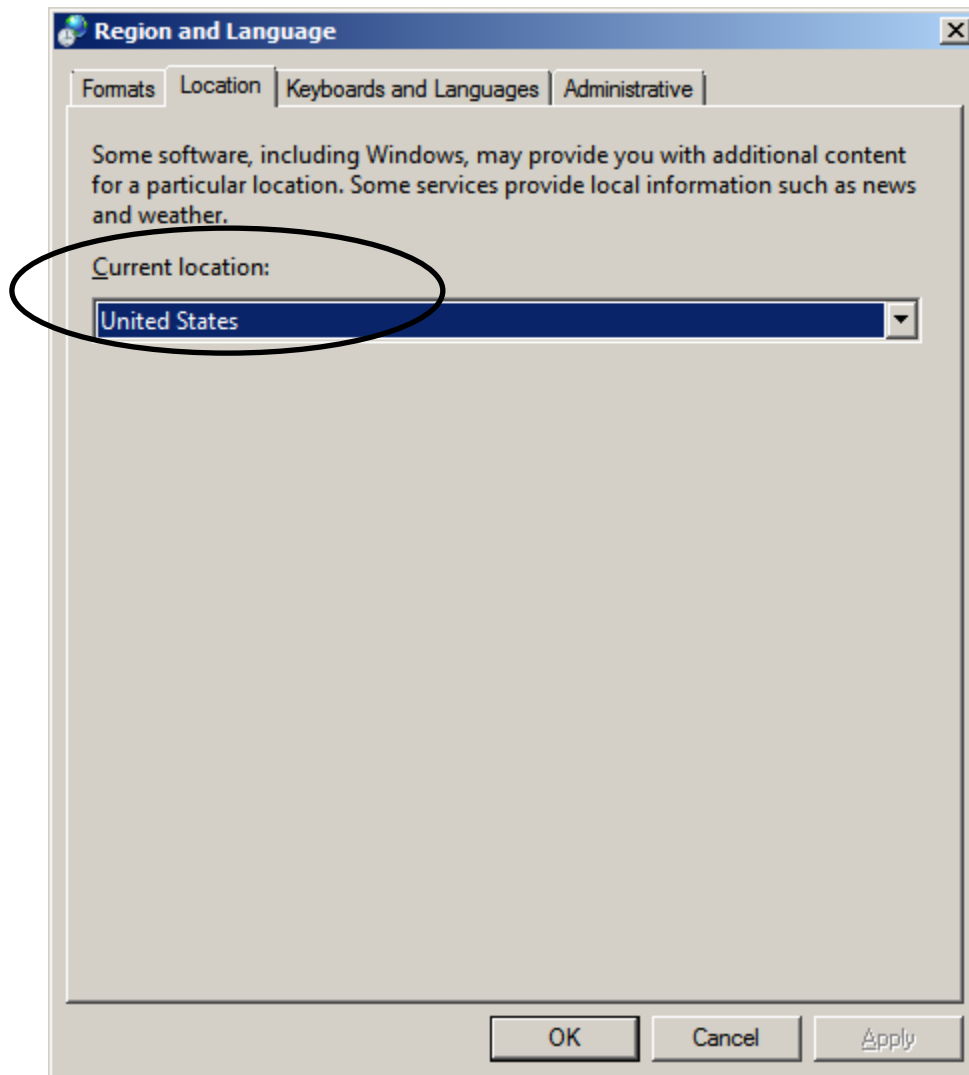


・再起動が促がされるので再起動します（再起動後、画面は英語表示となります）。

・再起動後、「Region and Language」画面で、「Format」タブを開き、Format で「English(United States)」を選択します。



- ・「Location」タブを開き、Current Location にて「United States」を選択します。

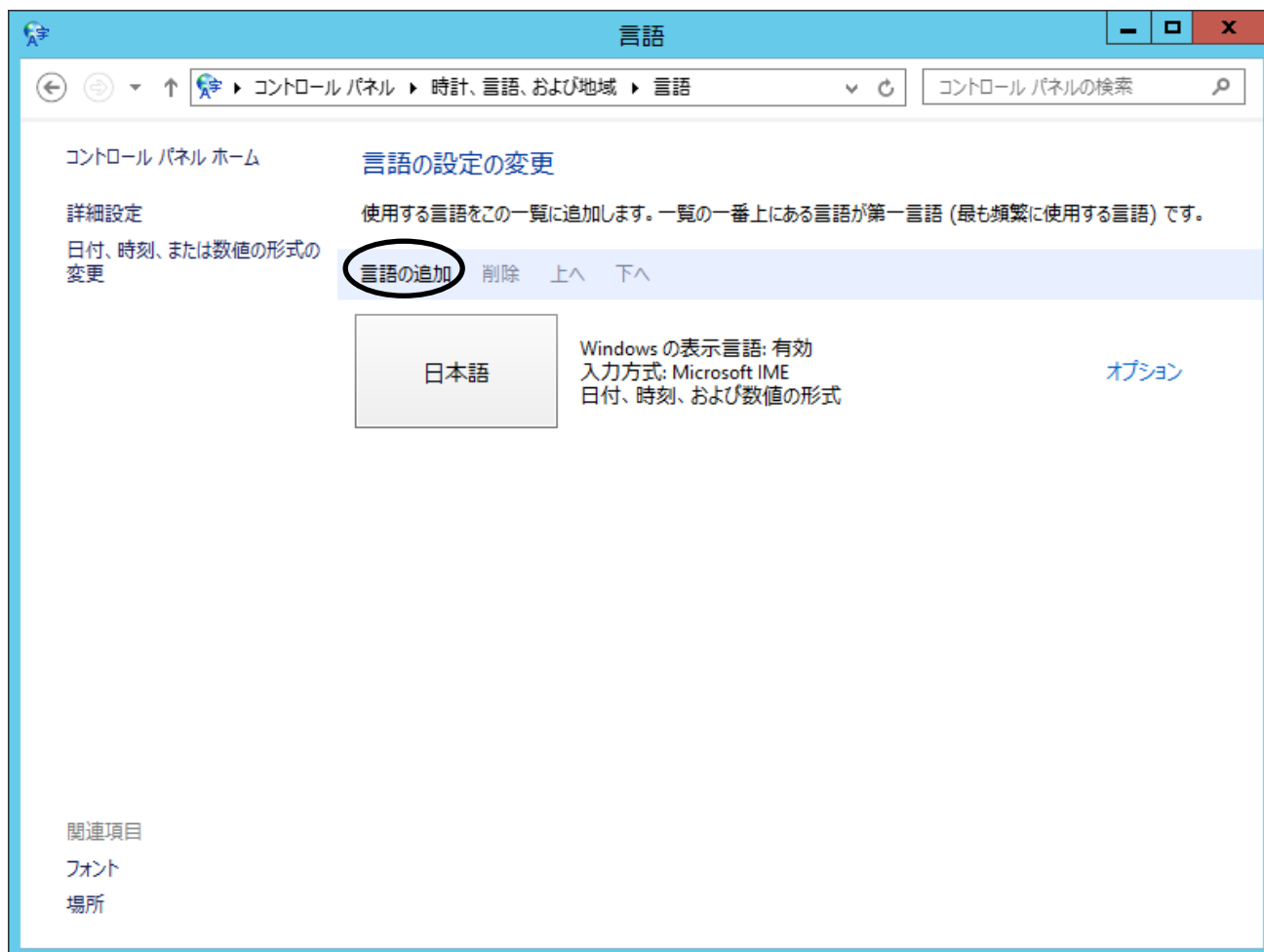


Windows Server 2012 の場合

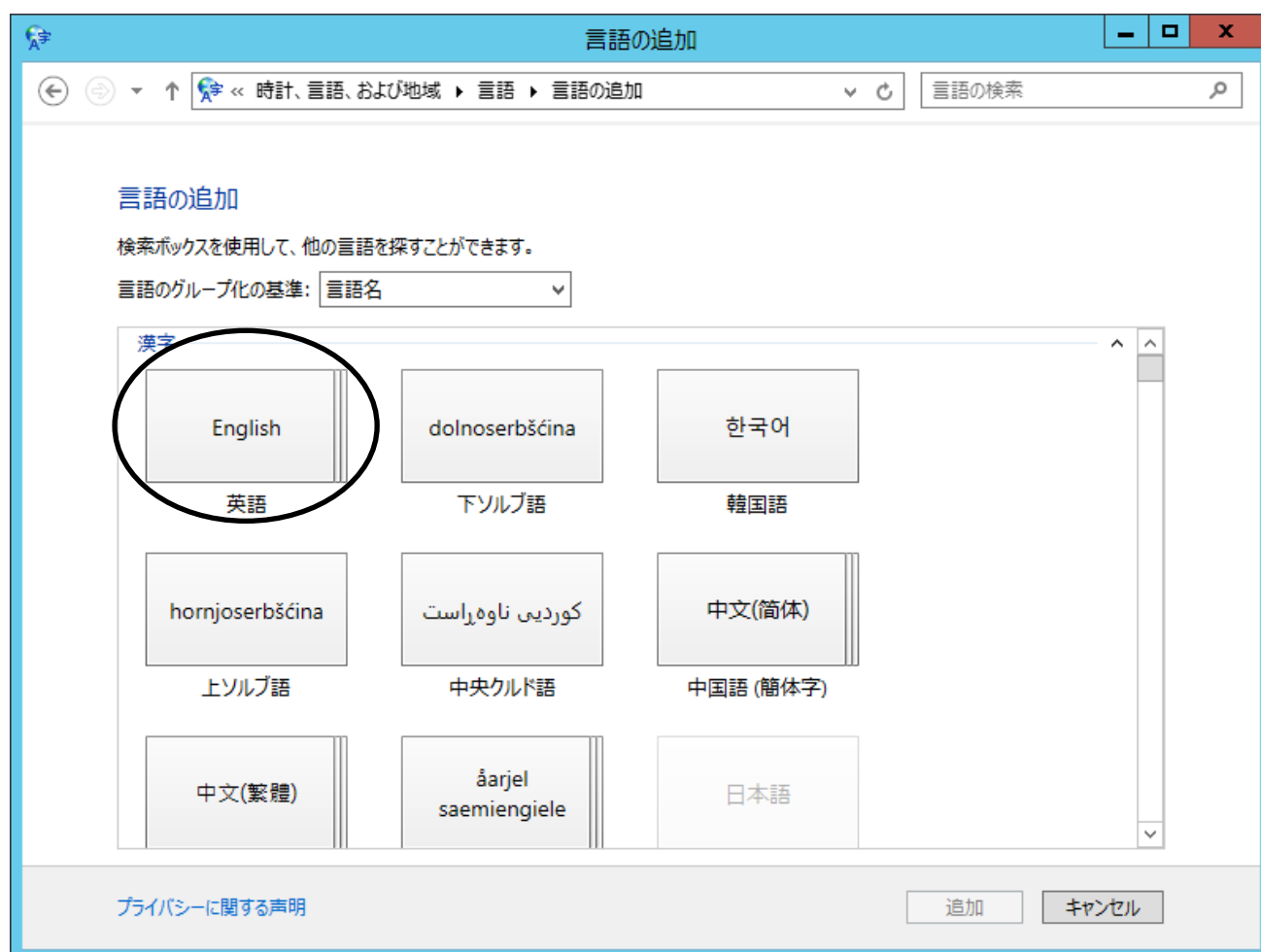
- ・ [コントロール パネル] を起動し、[時計、言語、および地域] の [言語の追加] をクリックします。



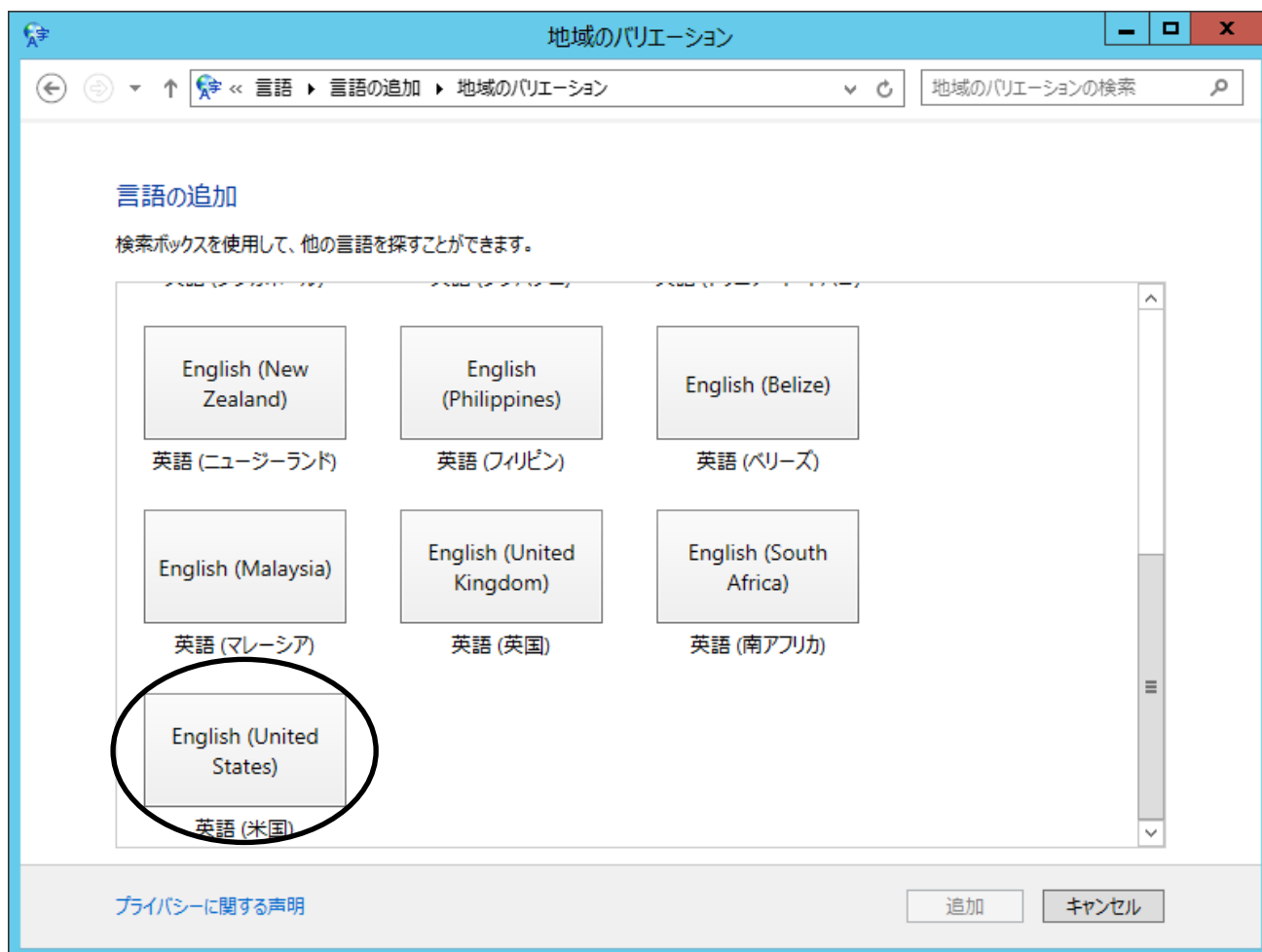
- ・「言語」画面内の「言語の追加」をクリックします。



- ・「言語の追加」画面内の「英語」を選択し、[開く] をクリックします（「英語」を選択すると [開く] が [追加] に変更されます）。



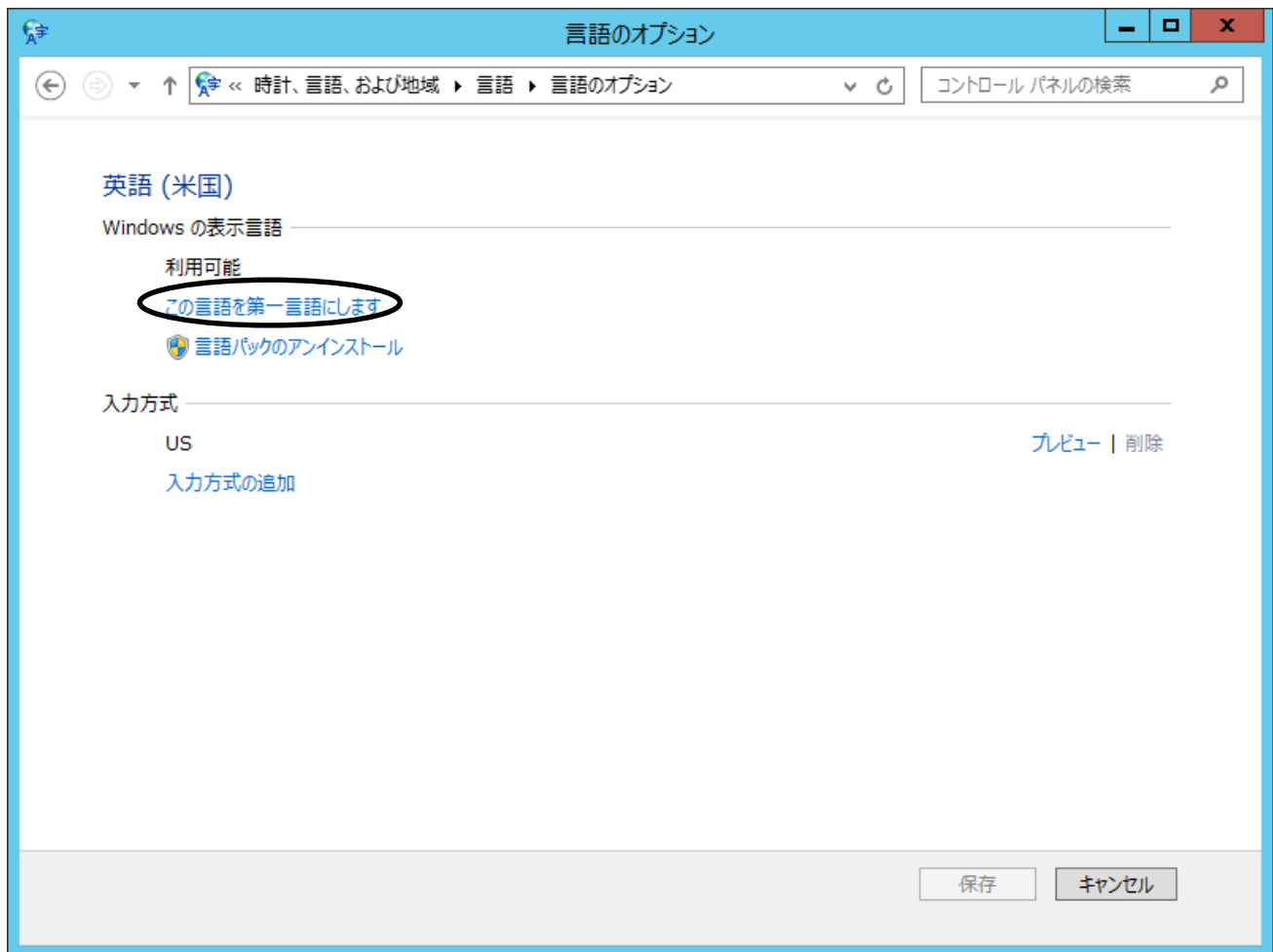
- ・「地域のバリエーション」画面内の「英語(米国)」を選択し、[追加] をクリックします。



- ・「言語」画面内の「English (United States)」の「オプション」をクリックします。

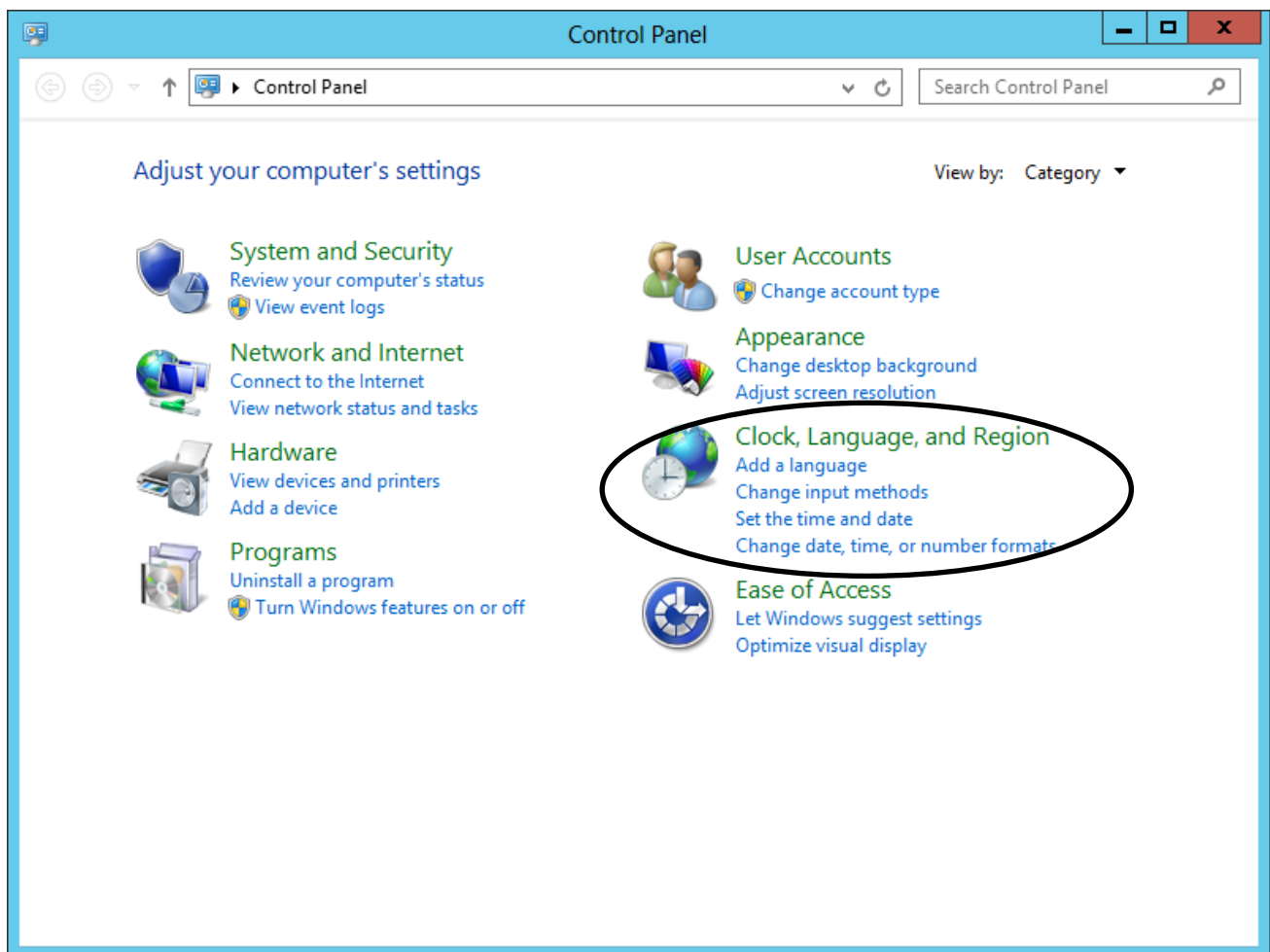


- ・「言語のオプション」画面内の「この言語を第一言語にします」をクリックします。

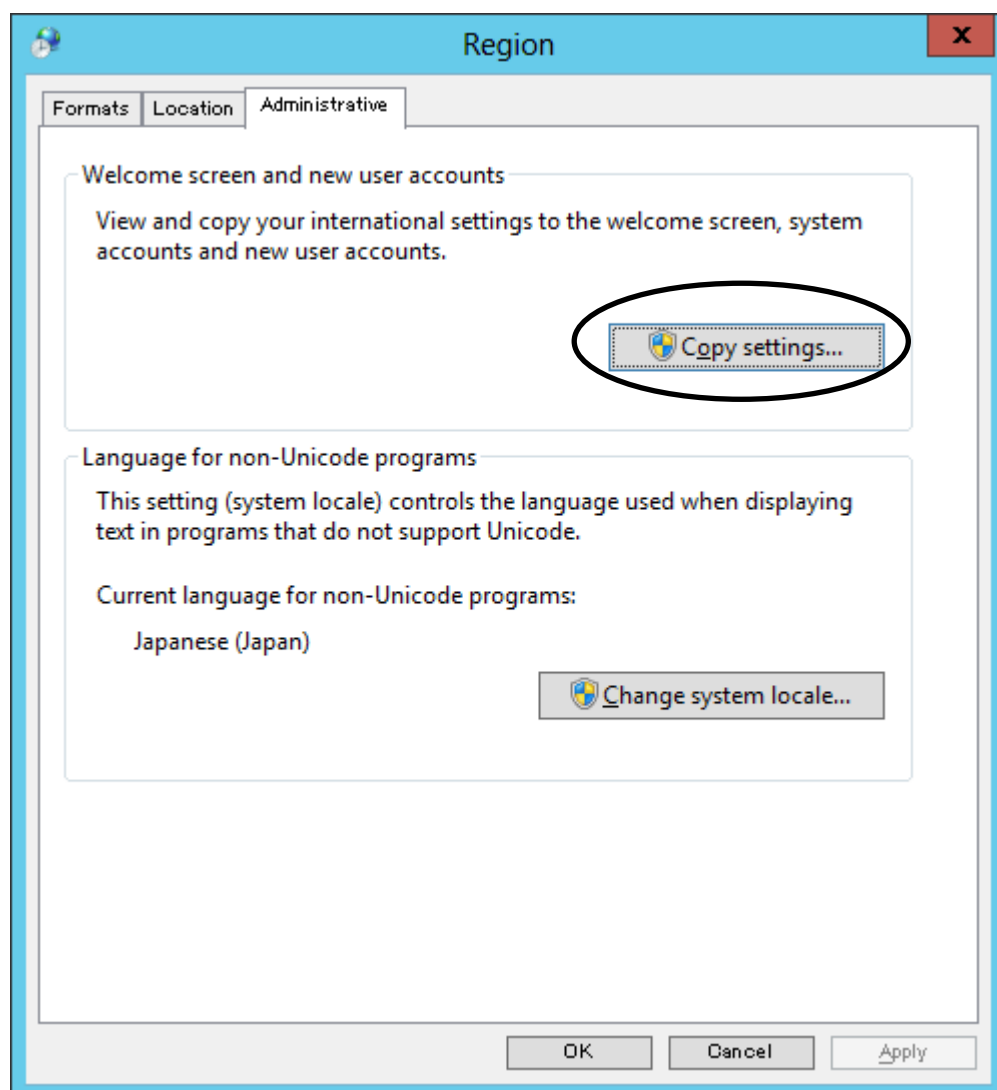


- ・ログオフを促がされるのでログオフします。

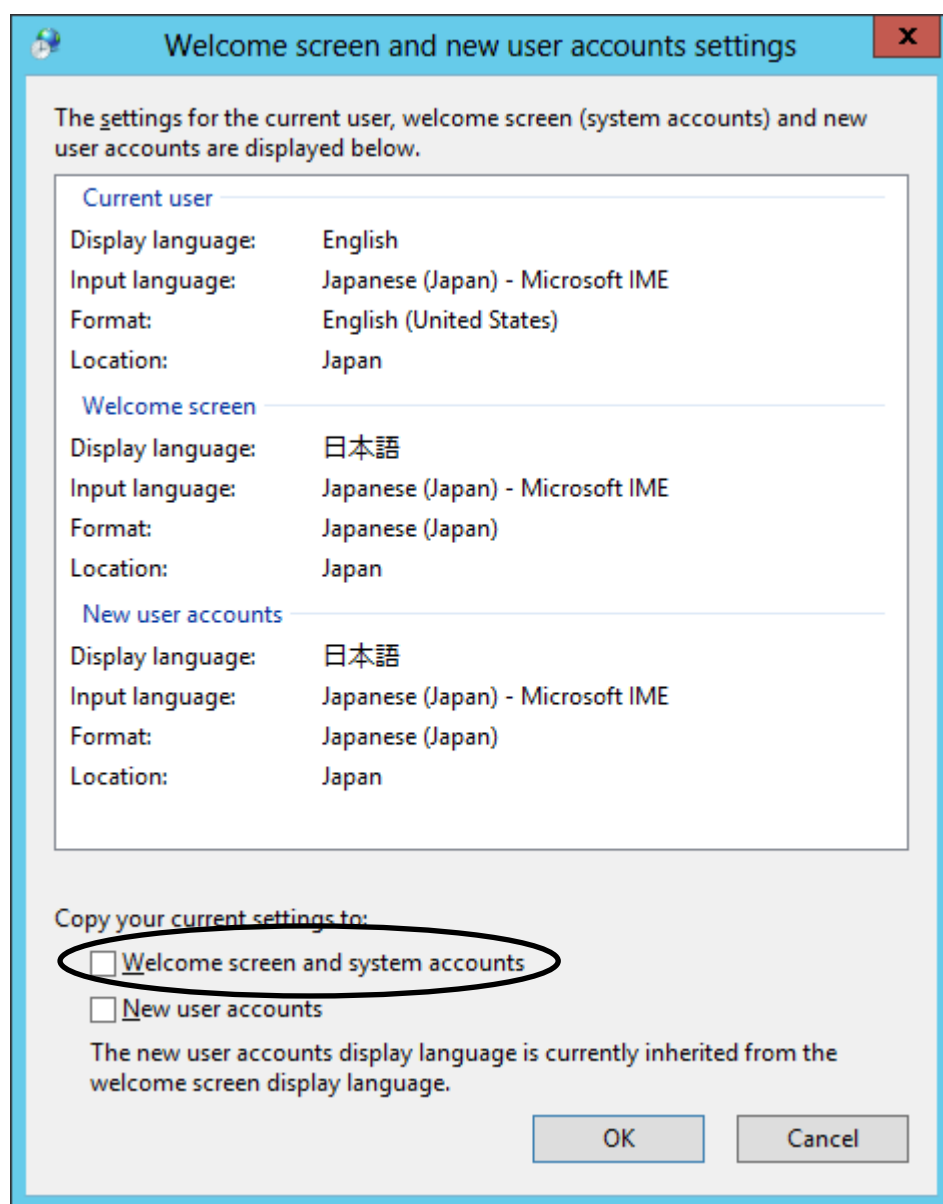
・再度ログオン（ログオン時の画面はまだ日本語となります）し、Control Panel を起動後、「Clock, Language, and Region」の「Change date, time, or number formats」をクリックします。



- ・「Region」画面で「Administrative」タブを開き、「Welcome screen and new user accounts」内の「Copy settings」をクリックします。

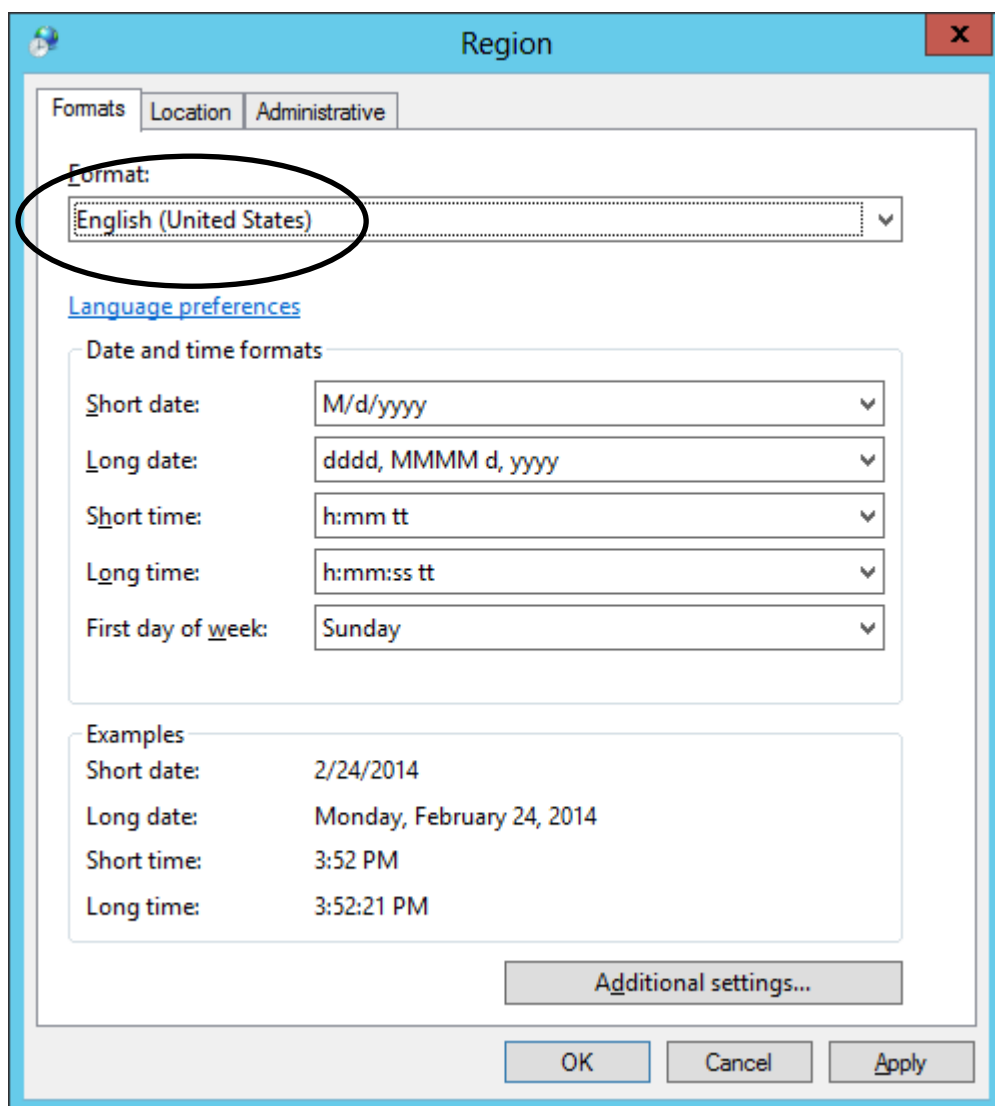


- ・「Welcome screen and new user accounts settings」画面で、「Welcome screen and system accounts」にチェックして [OK] をクリックします。

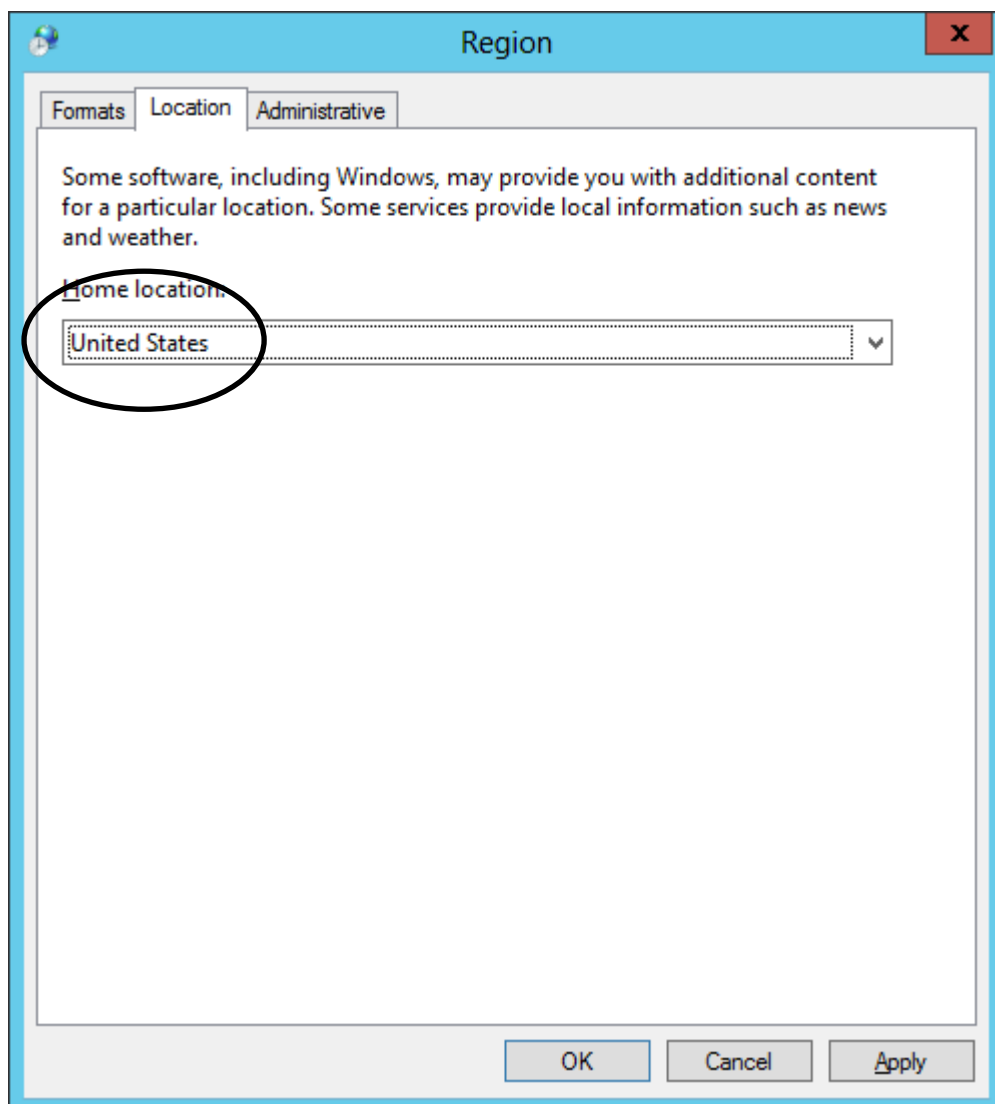


- ・再起動が促がされるので再起動します（再起動後、画面は英語表示となります）。

・再起動後、「Region and Language」画面で、「Format」タブを開き、Format で「English(United States)」を選択します。



- ・「Location」タブを開き、Home Location にて「United States」を選択し、[OK]をクリックします。



3.3. 英語 Linux OS の利用

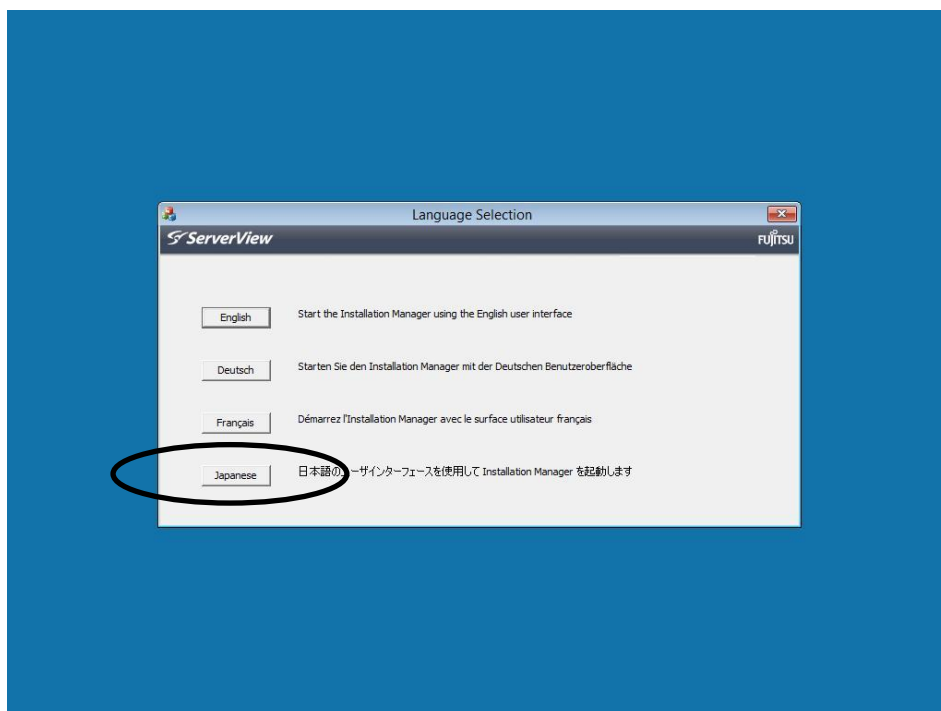
Linux ユーザーズマニュアルに従い「日本語」でインストール後、システムロケールを変更してください。

3.3.1. 物理環境への英語 Linux OS のセットアップ

(1)SVIM によるインストール

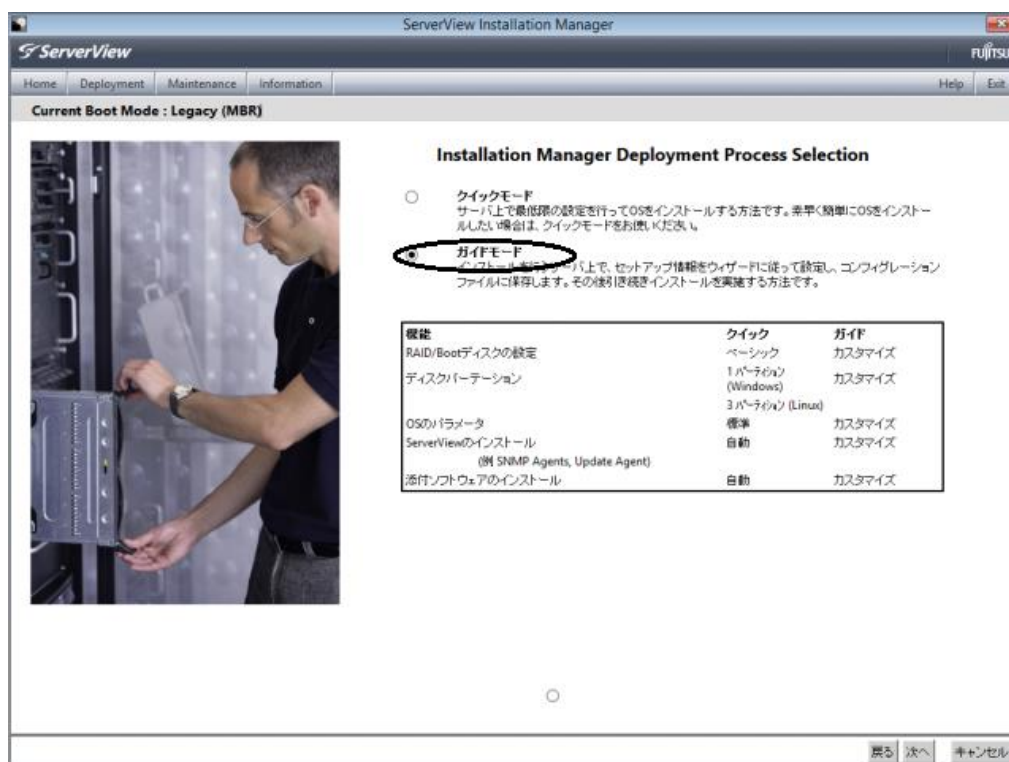
SVIM を起動し、GUI 言語を「Japanese」 に設定してください。インストール開始した後、OS 言語選択画面にて「基本設定」画面の「地域と言語の設定」に「Japanese」 をご設定ください。OS インストール後 FJ-LSP 適用が開始されます。

- ・ SVIM における GUI 言語設定画面



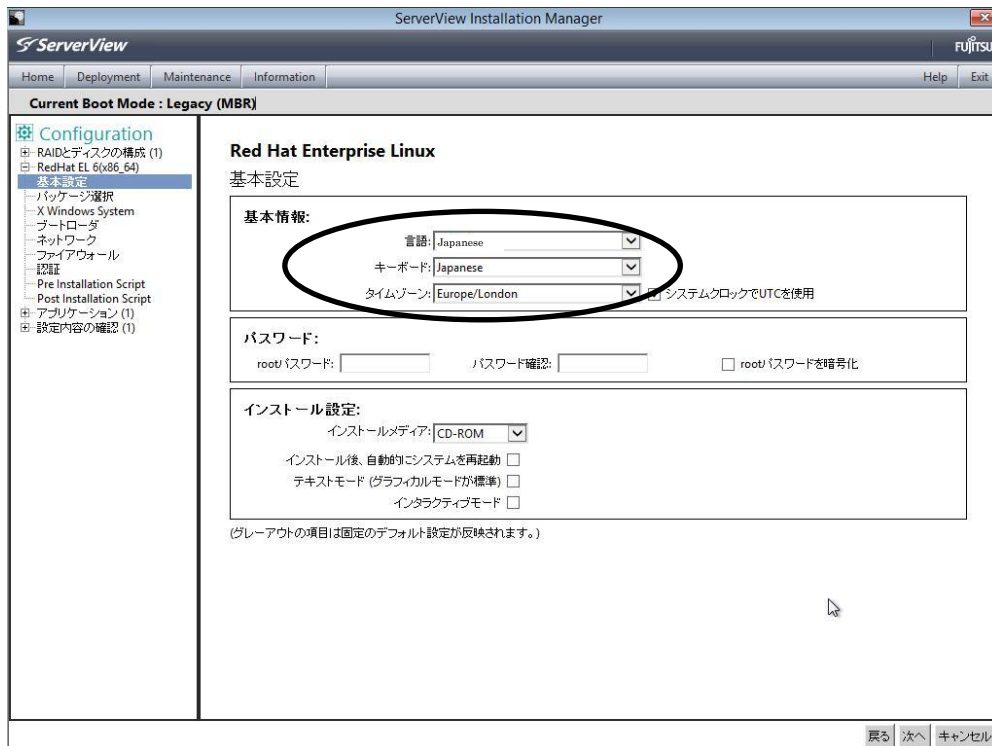
SVIM 起動時に、GUI 言語選択画面において言語「Japanese」をご選択ください。

・クイックモード・ガイドモード選択画面



クイックモード・ガイドモード選択画面において「ガイドモード」を選択してください。

・ OS 言語選択画面（基本設定画面）



OS 言語選択画面において言語を「Japanese」、キーボードについても「Japanese」を選択してください。

(2) システムロケール変更

【RHEL5/6 の場合】

/etc/sysconfig/i18n の LANG 設定値を以下の通り変更し、システムを再起動してください。

[変更前] LANG="ja_JP.UTF-8"

[変更後] LANG="en_US.UTF-8"

【RHEL7 の場合】

localectl コマンドにより、LANG 設定値を"en_US.UTF-8"に変更し、システムを再起動してください。

[コマンド実行例]

localectl set-locale LANG=en_US.UTF-8

3.3.2. 仮想環境への英語 Linux OS のセットアップ

(1) RHEL 標準のインストーラー (anaconda) でのインストール

Linux ユーザーズマニュアル「ゲスト OS インストール時の追加手順」に従い日本語で OS をインストールしてください。

(2) FJ-LSP の適用

Linux ユーザーズマニュアル「富士通 Linux サポートパッケージ (FJ-LSP) の適用」に従い FJ-LSP を適用ください。

※システムロケールの変更法は、「3.3.1 (2) システムロケール変更」をご参照ください。

3.3.3. 英語 Linux OS での運用管理ソフトウェア

英語 Linux OS を物理環境へ 3.3.1 の手順にてインストールした場合、インストールされる SVS DVD に収録されている Linux 向け運用管理/高信頼ソフトウェアの英語 OS 環境下での対応状況は下表の通りです。

Table 3.3 英語 OS 対応状況

		動作可否		ドキュメント
		RHEL5	RHEL6	英語対応状況
SVS 格納 運用管理/高信頼 ソフトウェア	ServerView Operations Manager	○(*1)	○(*1)	○
	ServerView RAID Manager	○	○	○
	ServerView Agents	○	○	○
	ServerView Agentless Service(*2)	-	○	○
	ServerView Update Agent	○	○	○
	JavaRuntime Environment	○	○	-

(*1) SVIM では、言語が日本語でインストールされますので、設定変更が必要となります。
設定変更手順は以下の通りです。

---設定変更手順---

/etc/fujitsu/ServerViewSuite/ServerView/global.conf ファイルの COM_APPL_LANG=ja を
COM_APPL_LANG=en に変更後、sv_services restart -withJBoss を実行して、SVOM を
再起動してください。

(*2) 64bit のみの対応となります。

※PRIMERGY 上での RHEL サポート版数については以下 URL に掲載されている一覧表を参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>

3.4. 英語ソフトウェア

3.4.1. PC サーバ関連ソフトウェアの英語 OS 対応

PRIMERGY にて無停電電源装置 (UPS) や Backup 装置を利用する際に必ず手配が必要な富士通から提供しているソフトウェアの英語 OS 対応状況は以下の通りです。

Table 3.4 PC サーバ関連ソフトウェアの英語 OS 対応状況

機器種類	ソフトウェア名	対応可否
UPS	Power Chute Business Edition	○[インストール先 OS の言語識別機能有] (*1)
	PowerChute Network Shutdown	○[インストール先 OS の言語識別機能有]
Backup	ARCserve	○[インストール先 OS の言語識別機能有] (*2)
	NetVault	○(言語選択画面において英語を選択してください) (*2)
	Backup Exec	△(*3)

(*1) Power Chute Business Edition インストール時には、事前に、下記の設定確認を行ってください。これらが設定されていない場合、インストールに失敗します。

[設定確認内容]

1. コントロールパネル [Regional and Language Options] の [Languages] タブの [Install files for East Asian languages] にチェックしてください。
2. [Advanced] タブの [Language for non-Unicode programs] に [Japanese] を設定してください。

※インストール後は使用言語に設定を戻してください。

(インストール後適切な設定にして頂けない場合、他のアプリケーションに影響を及ぼす可能性があります)

(*2) バックアップサーバとバックアップクライアントの OS 言語を統一してください。

日本語環境の本体と英語環境のエージェント(または、英語環境の本体製品と日本語環境のエージェント製品)という組合せでの運用はサポートされません。

(*3) 個別に確認が必要となります。詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください。

※各ソフト類 (PowerChute、ARCserve、NetVault、Symantec Backup Exec) の Windows2012 および 2012R2 へのサポート対応版数については以下 HP をご参照ください。

HP : 当社ミドルウェアの Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 対応状況

<http://software.fujitsu.com/jp/products/syskou/windows/winsv2012/>

HP : 当社ミドルウェアの Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 対応状況

http://software.fujitsu.com/jp/products/syskou/windows/2012_r2/

3.4.2. 富士通製ミドルウェア、その他ソフトウェアに関する留意事項

富士通製ミドルウェア (Interstage、Symfoware、Systemwalker、NetCOBOL など) については、英語版をご使用ください。富士通製ミドルウェアの英語版動作対応、日本国内で富士通製ミドルウェアの英語版購入および

び、その他ソフトウェア（日本マイクロソフト社製品等含む）の対応につきましては、個別に確認が必要となります。詳細は弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください。

4. 【ご参考】

4.1. VMware 留意事項

4.1.1. VMware 向けソフトウェアについて

SVS DVD に収録されている VMware 向け運用管理用の高信頼ソフトウェアの英語 OS 環境下での対応状況は以下の通りです。

Table 4.1 英語 OS 対応状況

		動作可否			ドキュメント
		ESX4.1	ESXi4.1	ESXi5/6	英語対応状況
SVS 格納	SVS ESXi CIM Provider	-	○(*2)	○(*2)	○
運用管理/高信頼 ソフトウェア	ServerView RAID Manager	○(*1)	(*3)	(*3)	○
	ServerView Agents	○(*1)	-	-	○
	ServerView Update Agent	○(*1)	-	-	○
	HRM / server (PRIMERGY)	○(*1)	-	-	×

(*1) 手動インストールが必要となります。

(*2) カスタムイメージに格納されるため、自動的にインストールされます。

(*3) ゲスト OS (Windows、Linux) もしくは、別の監視端末上にインストールします。

4.1.2. VMware における英語 OS 設定方法

VMware は言語「English」にて動作するため言語設定は不要です。ゲスト OS において英語 OS を導入する場合には、各ゲスト OS の対応状況に準じます。

4.2. 英語キーボードのキー配列について

英語 OS において日本語キーボードを「英語キーボード」と設定して使用する場合にはキーボードに刻印されている文字と実際に入力される文字が異なる場合があります。英語キーボード配列については、Figure4.1 を参照してください。

Figure 4-1 「英語キーボード」のキー配列



5. 【本書の記載に関するお問い合わせ先】

富士通コンタクトライン

<電話によるお問い合わせ>

電話 : 0120-933-200

ご利用時間 : 9:00 ~ 17:30 (月曜日～金曜日、ただし祝日と年末年始を除く)

※富士通コンタクトラインでは、お問い合わせ内容の正確な把握、およびお客様サービス向上のため、お客様との会話を記録・録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

< Web によるお問い合わせ>

Web によるお問い合わせも承っております。詳細については、富士通ホームページをご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>

■更新履歴

[illegible]

- ・本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。